



# 新しい朝

府中市立府中第十中学校  
学校だより No.1  
校長 芹澤 敏光  
令和 4年 4月 8日

## 入学式 式辞

新入生のみなさん、保護者の皆様、本日は府中第十中学校へのご入学誠にありがとうございます。本日ここに、第43回入学式を挙行できますことを大変うれしく思っています。例年とは違う縮小した形式となりましたが、保護者の皆様のご協力にまず感謝申し上げます。縮小した形式ですが、新入生のみなさんが本日入学したことの大切な意味は何も変わることはありません。本校の教職員・上級生一同、例年にも増して祝福の気持ちを一杯に、みなさんの入学を心待ちにしていました。

さて本校では、めざす生徒像、つまり第十中学校での生活の中でこんな生徒に育ってほしいということをつの点にまとめています。それは、「十中生であることを誇りに思える生徒」、「努力と誠実さや正義を大切にできる生徒」、「明るいあいさつ きれいな学校 時間を守る」を実践する生徒、「喜びや悲しみ・苦しみを友達と分かち合い、仲間とともに成長しようとする生徒」、「自分で考え、判断し、行動する生徒」、この五つです。どれも中学校生活の中では大切なことですが、入学にあたりこの中から、二つのことについて話しをしたいと思います。

一つ目は、「努力と誠実さや正義を大切にできる生徒」についてです。物事に誠意をもって努力ができるということは非常に尊いことです。特に中学校では、先生方に頼らず、自分たちで考え、計画し、実行することが多くなります。当然困難が伴うこともありますが、目標をもって地道にコツコツと頑張りぬくことで、素晴らしい感動や喜びが待っています。努力が報われたという思い、経験を、ぜひみなさんにたくさん積んで欲しいと思います。また、一人一人に正義ということがしっかりと心に刻まれていれば、学校の中で起こりがちないじめの問題や、心ない言動によって心を痛める生徒が出てしまうことも絶対に起こるはずがありません。いいことはいい、悪いことは悪い、ダメなものはダメということが自然とにじみ出るようであればなりません。努力と誠実さ、正義は必ず実を結びます。そしてみなさんの心を必ず豊かにしてくれるはずです。

二つ目は、「明るいあいさつ、きれいな学校、時間を守る」についてです。これは本校のスローガン・合言葉として、生徒全体に、日常の学校生活の中で常に意識を促しているものです。あいさつは人間関係の基本と言われます。あいさつのない人との関わり方は、当然ぎくしゃくしたものになることは容易に想像できるはずです。学校は社会の一部です。人との関わりなくして生活することは不可能です。あいさつが自然と口をついて出ることが、自分自身の気持ちの安定にもつながっていくと思います。また人には、環境に左右されやすい、あるいは環境が人をつくるという面があります。ゴミが散らかっているような状況が当たり前であれば気持ちは荒んでいきますし、気持ちが荒んでいけば、安全・安心な学校生活の大きな妨げにもなります。学校全体がきれいな状態で保たれていることも非常に大切なことです。そして学校の様々な活動がスムーズに行われるためには、時間が守られていることも不可欠です。時間は生徒のみなさんにとっても、先生方にとっても取り戻すことのできない平等なものです。時間を守ることは他の人の時間を無駄にしないことにもなります。一人一人にとっては、生活の効率化や、友人関係の中での信頼感にもつながっていきます。

保護者の皆様、改めまして、本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。本校の上級生は非常に落ち着いた雰囲気の中で、生き生きと学習、行事をはじめ様々な活動に励んでいます。その上級生の姿を見て下級生が育っていくということが本校の伝統になっています。これは保護者の皆様と地域の方々の温かい目とご協力なくして築かれたものではありません。本日で3学年の生徒全員が揃いました。これから一人一人の生徒を大切にしたい教育活動に、教職員一同誠実に取り組んでまいります。

本日入学した128名の新入生の皆さんが、この第十中学校の3年間の生活の中で、将来へ向けて素晴らしい夢を描き、その実現に向けて学校全体で、全力で取り組んでいくことを心に期して、式辞といたします。

令和4年4月7日

府中市立府中第十中学校 校長 芹澤敏光